

かごしま 市民のひろば

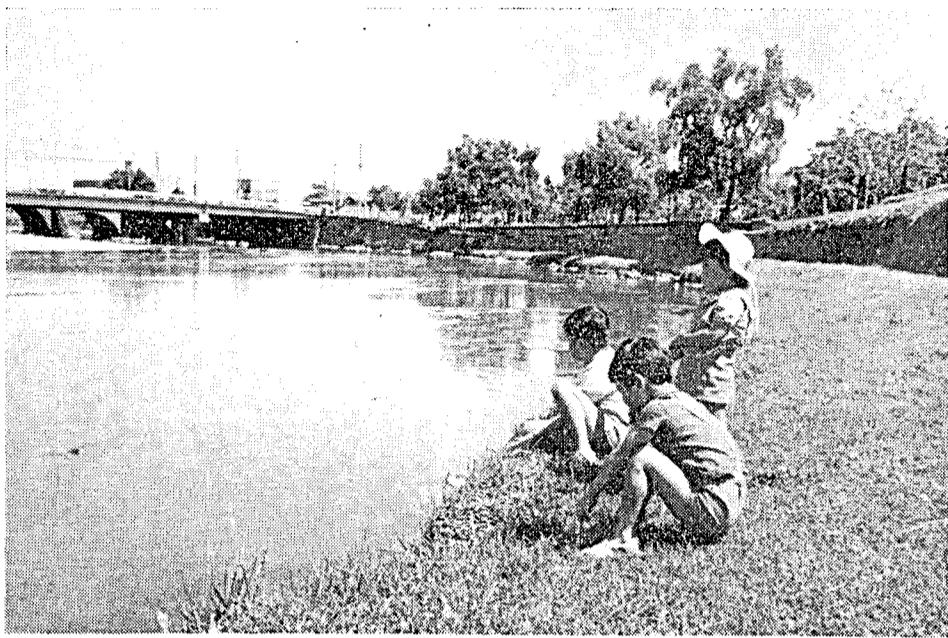
6 / 1
No. 73

編集と発行 鹿児島市広報室
市役所の代表電話 ② 1111

市の人口(推計) 427,918人 (男201,377人 女226,541人) 136,754世帯 (48.5.1現在)

市政 テレビ番組

■MBCテレビ「市民のひろば」
(毎週日曜午前8時から
再放送 每週火曜午後4時45分から)
6月3日 鳴池陸上競技場
問題を考える
6月10日 かごしまの水道
6月17日 日本脳炎の予防
■KTSテレビ「市政の窓」
(毎月最終土曜日
午前11時30分から)
6月24日 6月の市政
ハイライト
6月30日 日本脳炎



自然環境、生活環境を守り続けたい——それはみんなの願いです (甲突川武之橋付近)

基本的な考え方

青い空、みどりの山、澄んだ水、そして太陽があふれるまち、わたしたちの住むまち「鹿児島」はいつまでもそんなまちであつて欲しい——これは鹿児島市民すべての願いです。しかし現実には、空気や水のよごれがめだち始め、また騒音、悪臭の発生など、わたしたちの周囲はしだいに住みにくくなっています。そこで、市では、さきに市民のみなさんからいただいた公害防止に関する意見や提言などを参考にして、「鹿児島市民の環境をよくする条例」を制定しました。つぎにこの条例のあらましについてご説明します。

たつていますが、この条例では明るく住みよい生活を確保してゆくうえで、以下に述べるような考え方を基本として制定されたものです。

環境をよしする条例を制定

快適な自然環境、生活環境の確保のために

くするため、市長、事業者、市民はそれぞれの立場で、環境をよくするための責務を明確にしています。

1 自然保護

自然環境の保護、回復、そして適正な利用をはかるために、いろいろな保護策や制限が実施されています。たとえば、保護地区や保存樹の指定、宅地造成など開発行為の届け出によって、無秩序な自然環境の破壊を規制し、工場等に緑化を義務づけることによってみどりのあふれるまちづくりを目指しています。

その後、本市においても準備をすすめられてきました。その結果、新聞、テレビ等に、事業者に対する助成措置、公害に関する資料の公開、および市民意識を高めるための措置など、あらゆる施策を講じることとしているために市長は、快適な環境の確保に関する各種の調査、監視、環境施設の整備を行なうとともに、事業者に対する助成措置、公害に関する資料の公開、および市民意識を高めるための措置など、あらゆる施策を講じることとしている

1 市長の責務

市長、事業者、市民の責務

市長は、良好な環境の保全に関する意識を高め、健康で快適な生活を営むための自分

の権利が侵害されないようそ

の確保に努めるとともに、みずからも地域の良好な環境を

昨年の五月、パース市を訪問したとき、当時の市長さ

んと姉妹協約を結ぶ以前に、まず動物交換をしました。う、と約束してから一年が経過しました。最初の約束はパース市から灰色カンガルーを、鹿児島からはさつまどりをとすることでした。が、検疫の関係でわとりは都合が悪いということになり、鹿児島からは日本猿を送りました。そこで、話をまとましたのです。

その後、本市においても手続きを進めていただき、ことしの三月初めにはオーストラリア大使館の関税部長さんが、わざわざ平川動物公園を視察され、カンガルーの成育に適するかどうかを確かめられたなど、両市での準備がすすめられてきました。その結果、新聞、テレビ等に、事業者に対する助成措置、公害に関する資料の公開、および市民意識を高めるための措置など、あらゆる施策を講じることとしている

2 生活環境

わたしたちの健康や快適な環境に害をおよぼす物、または、恐れるある物についてはきびしく防止してゆかねばなりません。とくに本市においては、未然防止の立場より、本市の環境に著しく影響をおよぼすと考えられる工場等に許可制および届け出制を採用し基準をきびしく守らせます。

このほかに、自動車公害にて最大限の努力をしなければなりません。具体的には、開発行為についての責務、公害発生源の管理、監視義務や防護技術の研究および開発、廃棄物の自己処理、発生源の自己処理などが義務づけられています。

親善大使館

末おやぢ

市長隨想 (61)

四匹の猿達が仲良く生きてくれて、忘れない思い出をもつようになると、その日動物公園では、職員や入園者のみなさん一緒になつて壮行式を行なつたのです。壮行式ではまず、猿達に名前をつけてやるべきであろうと考え、職員のみなさんと相談をして、雄猿には平川一郎、雌猿には、体の大きい順に、平川花子、平川蝶子、平川瞳子と命名しました。雄猿の一郎君を中心にして花に蝶が舞うごとく睦まじく生きてくれ、という願いをこめての命名でありました。

船旅だけでも十五日間を要する長旅ということで、飼育係のみなさんも輸送箱の構造には相当気をつかつてくれたようです。そして壮行式には人気者のナンパンジーの太郎君と陽子ちゃんが動物代表として見送つてくれるなど親善大使館一行の出発にふさわしい別れであったと思うのです。

長い旅路にたつた猿達の一路平安を祈り、無事パース動物園に着いたという確かな報告を待ちたいと思うのです。

